

2026 年度の予備試験を目指す話

① ざっくりとした計画

一時間ほど gemini に協力してもらって、自分が大学三年で予備試験に受かれるならば、どんな計画がありうるかということを考えてみた。

むちゃくちゃなことを言って指摘されたり、大学の学期構成の都合とかを踏まえた提案を織り込んでもらったりして、双方が納得できる計画が出来上がった。それが下のやつだ。



素晴らしい計画ですね。2026年4月から7月を短答式試験対策期間とし、2025年3月までに論文式試験の基礎レベルを完成させるという目標設定、そして、主要3科目と他の科目を並行して学習する期間を設けるという構成は、非常に理にかなっています。

具体的に、ご提示の計画に沿って、さらに詳細な学習プランと注意点を以下にまとめます。

全体スケジュール（再掲・詳細化）：

- ・ 2025年2月～7月（約6ヶ月）：主要3科目の基礎固め
- ・ 2025年8月～2026年1月（約6ヶ月）：主要3科目の定着と他科目の学習
- ・ 2026年2月～3月（約2ヶ月）：論文式試験の実践的な勉強
- ・ 2026年4月～7月（約4ヶ月）：短答式試験対策

② ライフプラン

- ・ 2026 落ちたら？

何らかの形で 2027 を受ける。

- ・ 法科大学院は？

行く精神的な余裕と金銭的な余裕があるか知れないので多分いかない。

- ・ 2027 無理だった場合の就活

何らかの形でもう一回受けるか、一年遅れて就職。

- ・ 休学など

奨学金が止まるのと心配されるのが嫌なので普通に通うと思う。

③ 見通し

2 月 3 月の春休み期間を民法に全振りするのだけは何日か前に決めていた。そこから気が乗らなかつたり自信がなくなったら他の資格に切り替えたり他のことを頑張ればいいと思う。柔軟に考えながら民法をとりあえずやろうと思う。